



# 学園通信

◆2023年(令和5年)12月20日発行 ◆Vol.74

故きを温ねて、新しきを知る。帯広葵学園のあしあと⑦④

## シンボルマークのじゆん④

— 012青い鳥保育園 — 学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

012青い鳥保育園のシンボルマークは『心優しく育つ子どもたちの姿と保育者の愛情をハートに託し、012と青い鳥を配してマーク化した』ものである。これが考案者奥野淳一さんの説明だ。

そもそもこの施設は、2001(平成13年)に設置した子育て支援センター「あおいキッズハウス」が前身になっている。「あおいキッズハウス」は、帯広の森幼稚園とつつじが丘幼稚園の中間地点にあり、二つの園の子どもたちの預かり保育を主な業務としていた。それまで両園の預かり保育はそれぞれの園の中で実施していたが、保護者の働き方に合わせるようになるとうしても時間延長が必要であった。午後5時までは不都合なのだ。

帯広の森幼稚園やつつじが丘幼稚園の周辺には住宅の数は少ない。冬ともなれば、午後4時を過ぎるとあたりは暗くなる。午後6時まで預かり保育を延ばすには防犯対策が手薄になると判断し、別に土地を求めて預かり保育センターをつくることにしたのであった。

ところが、当時は預かり保育の希望者が増える傾向にあった。数年で、定員50人の「あおいキッズハウス」は手狭になるのであった。しかし、この施設を増築することは物理的に無理であったことから、安全面を考えて男性職員を一人配置することとし預かり保育はそれぞれの園でやることにしたのである。もとに戻ったのである。

ちよつどその頃制度が変わり、学校法人でも「小規模保育所」の経営が可能になったことから、0歳児から2歳児までの子どもを対象にする小規模保育所「012青い鳥保育園」として運営することにしたのであった。帯広葵学園が初めて3歳児以下の子どもたちを受け入れたのである。その心構えは正にシンボルマークに込められた心そのままであったことは言うまでもない。

小規模保育所

## 012 青い鳥保育園

【シンボルマーク考案者】

奥野 淳一氏

1948年帯広市生まれ。帯広三条高、道教育大釧路校卒。十勝管内の小・中学校で勤務し、帯広第一中学校長で定年退職。つつじが丘幼稚園園長や市教委「心の教室」相談員を経て、2017年8月から帯広北高校を運営する帯広渡辺学園の理事を務めている。



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022  
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F  
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778  
URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>



帯広の森幼稚園



012おびもり



つつじが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町認定こども園



駒場認定こども園



あおいキッズランド



東土狩保育所・南中音更保育所・西中音更保育所



あおいとりの旗